

市町村名	北谷町							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-③	花と緑のまちづくり事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ		
担当部署名	建設経済部 経済振興課	事業実施(予定)年度	平成24年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
Ⅲ-1-(1)								
事業内容	美浜アメリカンビレッジにおいて観光・ショッピング街に相応しい花と緑にあふれた景観を形成する事業を実施する。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	4,000					
		(b) 予算現額	4,000					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	4,000					
	B. 執行済額		3,854					
	うち交付金充当額		3,082					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		96.4%					
予算の状況の説明		当初の計画通り予算を適正に執行できた。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	花壇への植花作業	目 標	(173.38㎡)					
		実 績	173.38㎡					
		目 標	()					
		実 績						
達成状況説明	本町の観光拠点地域の草花による景観形成が図られた。							
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）	
	花壇への植花作業	目 標	()	(173.38㎡)				
		実 績		173.38㎡				
	【参考指標】	目 標	()	()				
		実 績						
	進捗状況説明	本事業は、花と緑のホスピタリティーあふれるまちづくりを目指し、町民や来町者、観光客に安らぎを与え、潤いのある街並みの創出を目標に展開した。今回は町内の観光拠点地域にフラワータワー及び植花を実施し、観光客の撮影スポットの整備を行った。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(1)花と緑によるホスピタリティーあふれるまちづくりを展開し、観光客誘客と魅力ある景観形成の推進を図った。 (2)観光客の目を引くフラワータワーを設置し、写真の撮影スポットになるような整備を行った。	(1)草花の継続的な維持管理が求められる。 (2)維持管理については地域の協力が求められる。
今後の取り組み方針		
観光拠点における景観形成を継続的に実施しホスピタリティーあふれるまちづくりを目指す。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)																
花と緑のまちづくり事業		<table><tr><td rowspan="2">総事業費</td><td rowspan="2">交付対象 事業費</td><td colspan="2">交付対象</td><td rowspan="2">交付対象 外経費</td></tr><tr><td>交付金 充当額</td><td>市町村 負担金</td></tr><tr><td>3,854</td><td>3,854</td><td>3,082</td><td>772</td><td></td></tr></table>			総事業費	交付対象 事業費	交付対象		交付対象 外経費	交付金 充当額	市町村 負担金	3,854	3,854	3,082	772	
総事業費	交付対象 事業費	交付対象		交付対象 外経費												
		交付金 充当額	市町村 負担金													
3,854	3,854	3,082	772													
<table><tr><td rowspan="2"> 北谷町 3,854千円 </td><td>—</td><td> 委託料 494千円 </td><td>—</td><td> 株式会社南城技術開発 494千円 </td><td>設計業務</td></tr><tr><td>—</td><td> 委託料 3,360千円 </td><td>—</td><td> 中部緑化土木株式会社 3,360千円 </td><td>植栽工事</td></tr></table>					北谷町 3,854千円	—	委託料 494千円	—	株式会社南城技術開発 494千円	設計業務	—	委託料 3,360千円	—	中部緑化土木株式会社 3,360千円	植栽工事	
北谷町 3,854千円	—	委託料 494千円	—	株式会社南城技術開発 494千円		設計業務										
	—	委託料 3,360千円	—	中部緑化土木株式会社 3,360千円	植栽工事											
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目・	評価	点 検 項 目			評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。			費目・使途については事業の目的を達成するためには必要不可欠なものであったことから、適正であったと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。														
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。														
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。														

市町村名	北谷町							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-④	国際的観光地形成促進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ		
担当部署名	総務部 企画財政課	事業実施(予定)年度	平成24年度		沖縄振興基本方針該当箇所	市場特性に対応した誘客活動の展開 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	本町の西海岸一帯を中心とした国際的観光地の形成に向けて、人脈の形成と今後のネットワーク構築の足がかりとするため、ハワイで開催される催し物に参加する。併せて、新たな観光メニューを開発するため、気候や観光資源が類似するハワイの音楽やエンターテインメントのプロデュースや観光施設等を視察する。							
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	3,086					
		(b) 予算現額	3,086					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	3,086					
	B. 執行済額		3,086					
	うち交付金充当額		2,468					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		当初の計画通り予算を適正に執行できた。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	イベントの参加	目 標	（ 沖縄フェスティバル ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績	沖縄フェスティバル					
	観光施設等の視察	目 標	（ 14カ所 ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績	14カ所					
達成状況説明	ハワイで開催された第30回沖縄フェスティバルに参加し、現地のハワイ連合会、ハワイ北谷嘉手納町人会との交流と連携体制の強化を図った。 ハワイ短期留学事業の検討推進のための現地実態調査及び北谷町の商観光業発展のため、現地の観光業及び産業、物産の視察を行った。							
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）	
	観光振興計画案への反映	目 標	（ ）	参考事案の分析	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績		参考事案の報告				
	ハワイアンイベントの開催	目 標	（ ）	（ 1 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績		0 （台風により中止）				
	進捗状況説明	今回観光先進地において交流や視察を行ったことにより、北谷町観光振興計画策定に係るワーキンググループにおいて事例の報告等行うことができた。今後は平成25年度以降にスタートするハワイ短期留学派遣事業や、新たな観光メニューの創出に向けてよりいっそうの効果を発揮できるものとする。 ※平成24年10月に予定していたハワイアンフラのイベント開催は、当日台風の接近による強風の為中止になった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	現在、本町西海岸の更なる活性化及びフィッシャリーナ事業への発展のため、海を活かした観光産業の更なる推進を模索していかなければならない。	本町西海岸地区及びフィッシャリーナ開発地区に加えて、今後返還が予定されている駐留軍用地跡地利用の計画においても、リゾート開発や複合商業施設の建設が予定されていることから、今後本町の観光・リゾート産業を継続・発展させるためには、国内観光客だけでなく、外国人観光客の誘致が必要である。
今後の取り組み方針		
・ハワイアンイベントの開催 ・本町からの視察だけでなく、ハワイからも視察・研修生等を積極的に受け入れる体制づくりを行い、双方の交流を活発に行う。 ・ハワイ交流による産業の連携及び特産品開発等の推進をはかり、本町西海岸地域の更なる活性化につなげる。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>3,086</td><td>3,086</td><td>2,468</td><td>618</td><td></td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	3,086	3,086	2,468	618	
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
3,086	3,086	2,468	618											
北谷町 3,086千円 委託料 356千円 旅費 2,730千円 現地ガイド兼通訳 110千円 現地専門通訳者 246千円 費用弁償(4人分) 1,560千円 $(390,000 \times 4 = 1,560,000)$ 外国旅費(3人分) 1,170千円 $(390,000 \times 3 = 1,170,000)$ 費用弁償・外国旅費1人分内訳 航空運賃 113,000 宿泊料(5日分) $20,000 \times 5日 = 100,000$ 入出国税 41,000 入国認証手続き 3,000 交通費 1,760 日当(甲地方6日分) $7,000 \times 6日 = 42,000$ 日当(国内1日分) 3,000 支度料 86,240														
資金の流 使途の 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
○	○	支出先の選定方法は妥当か。	費目・使途については事業の目的を達成するためには必要不可欠のものであったことから、適正であったと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	北谷町							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-⑥	北谷町観光物産プロモーション事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ		
担当部署名	建設経済部 経済振興課	事業実施(予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	市場特性に対応した誘客活動の展開 Ⅲ-1-(1)			
事業内容	県外、国外における、観光誘致対策事業、誘客プロモーション事業へ参画し、地域特産品交流と町観光のPR、本町への観光客誘客を推進する。 また、北谷町産業総合展示会の会場を中日ドラゴンズがキャンプをしている北谷公園野球場前広場に移すことで、本町の産業及び観光の振興並びに地域の活性化を推進する。 中日ドラゴンズキャンプの開催時期や他の時期においても、本町への観光客誘客を図るため、中日ドラゴンズ「沖縄ウィーク in ナゴヤドーム」において、本町の観光情報、地域特産品情報を広く告知する観光物産プロモーション事業を実施する。 また、本町の知名度を一層向上させ、沖縄及び北谷町への外国人旅行者の訪日旅行促進を図るため、「第20回 台北国際旅行博(ITF2012)」に設置される沖縄県ブースに参加し、本町の観光情報、地域特産品情報を広く告知する。							
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	4,678					
		(b) 予算現額	6,678					
		(c) 増減額(b-a)	2,000					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計(b+d)	6,678					
	B. 執行済額		5,131					
		うち交付金充当額	4,104					
		次年度繰越額	0					
	執行率(%) (B/A)		76.8%					
予算の状況の説明		産業展示会の会場設営業務委託費を追加したため予算の増加となったが、委託内容の縮小により執行残が生じた。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	プロモーション活動回数	目標	(2回)	()	()	()		
		実績	2回					
		目標	()	()	()	()		
		実績						
達成状況説明	愛知県名古屋市内で行われた中日ドラゴンズ「沖縄ウィーク in ナゴヤドーム」における観光啓発配布活動、台湾台北市で行われた「第20回 台北国際旅行博(ITF2012)」への出展参加を行い、町内の観光事業者と共に地域特産品交流と町観光のPR、本町への観光客誘客推進を図った。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
	沖縄ウィークinナゴヤドーム 北谷デイ町特産品、パンフレットの配布	目標	()	(1,000個)	()	()	()	
		実績		1,000個				
	【参考指標】 第20回台北国際旅行博(ITF2012) 町特産品、パンフレットの配布	目標	()	(400個)	()	()	()	
		実績		400個				
	産業総合展示会来場者数	目標	(5千人)	(2万人)	()	()	()	
		実績	5千8百人	2万2千人				
	進捗状況説明	愛知県名古屋市内で行った中日ドラゴンズ「沖縄ウィーク in ナゴヤドーム」での観光啓発配布活動では、試合観戦に訪れたお客様に対し、本町の観光情報誌及び町特産物品のサンプリングを実施した。 台湾台北市で開催された「第20回 台北国際旅行博(ITF2012)」へ財団法人沖縄観光コンベンションビューローと連携し沖縄県ブースに出展参加した。また台湾の各関係機関に対し、本町のスポーツツーリズム事業の情報の発信を行い、着地型観光の拡張と観光客誘客事業の推進を図った。 産業総合展示会の会場を野球場前広場に移したことで、中日ドラゴンズと連携して、様々なイベントが開催できたので、これまでになく、盛大な産業展示会となった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(1)本町で春季キャンプを行っている中日ドラゴンズの本拠地名古屋において、沖縄観光及び町観光のPRを実施することにより、キャンプシーズンの観光客誘客が図られた。 (2)中日ドラゴンズ「沖縄ウィーク in ナゴヤドーム」において、本町の観光大使の任命式を実施し、観光啓発を図った。 (3)国際的な旅行博覧会に出展参加し、沖縄県と連携して、本町の観光啓発活動を実施した。 (4)台湾より本町のスポーツツーリズム事業への参加と誘客が図られた。 (5)産業総合展示会の会場を移したことで、来場者の増加とともに、町民だけではなく、観光客の皆さんにも本町の産業を紹介することができた。また、本町の観光振興に寄与することができた。	(1)観光啓発配布について、本町の魅力を十分に表現できる媒体の策定が求められる。 (2)地域特産物の研究開発が求められる。 (3)キャンプ地での産業総合展示会として認知してもらうため、継続した取り組みが必要である。
今後の取り組み方針		
国内外における観光物産プロモーションを継続的に実施し、本町の知名度の向上と観光客誘客推進を図る。		

資金の流れ						
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)						
			総事業費	交付対象事業費		交付対象外経費
				交付金充当額	市町村負担金	
			5,131	5,131	4,104	1,027
名古屋 プロモーション 2,279千円	－	旅費 324千円	－	観光プロモーション要員 3名		
	－	需用費 978千円	－	有限会社ナチュラル・ファクトリー 500千円	観光啓発配布袋(クラフト紙)購入	
			－	沖縄北谷自然海塩株式会社 225千円	観光啓発配布物(北谷の塩)購入	
			－	株式会社コクバヤサン 103千円	観光物産展示用パネル購入	
			－	有限会社ナチュラル・ファクトリー 150千円	観光PRポストカード印刷	
	－	役務費 30千円	－	北谷町社会福祉協議会 30千円	切手購入(郵送のため)	
	－	委託料 300千円	－	C-POP TV株式会社 300千円	観光物産プロモーション映像制作業務	
	－	使用料 577千円	－	株式会社ナゴヤドーム 577千円	ナゴヤドーム施設使用料	
－	備品購入 70千円	－	株式会社コクバヤサン 70千円	展示用パネルバナースタンド購入		
台湾 プロモーション 1,613千円	－	旅費 645千円	－	観光プロモーション要員 7名		
	－	需用費 19千円	－	北谷長老酒造工場株式会社 19千円	観光啓発配布物(北谷長老)購入	
	－	委託料 875千円	－	C-POP TV株式会社 443千円	観光物産プロモーション多言語映像制作業務委託	
			－	(株)東亜旅行社 432千円	台湾プロモーション旅程管理業務委託	
		備品購入 74千円	－	株式会社 沖縄科学AVセンター中部営業所 74千円	プレゼンテーション用タブレット端末購入	
北谷町産業総合展示会 会場設営 1,239千円	－	行事式典委託料 1,239千円	－	株式会社 エムズ 1,239千円	会場設営	
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・	評価	点 検 項 目			評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。			費目・使途については事業の目的を達成するためには必要不可欠なものであったことから、適正であったと判断した。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。				
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。				
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。				

市町村名	北谷町							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-⑦	北谷町観光産業啓発広報促進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ		
担当部署名	建設経済部 経済振興課	事業実施(予定)年度	平成24年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
Ⅲ-1-(1)								
事業内容	これまでパンフレット等で補いきれなかったタイムリーで充実した情報発信を図り、観光産業振興を推進するため、本町の観光拠点地である美浜アメリカンビレッジ内で屋外ディスプレイを設置し、来訪する国内外の観光客に観光イベントや地域情報等の観光情報を多言語でPRする。							
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	12,800					
		(b) 予算現額	5,445					
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 7,355					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	5,445					
	B. 執行済額		4,887					
	うち交付金充当額		3,909					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		89.8%					
予算の状況の説明		入札による執行残が生じたため当初予算から減額した。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	液晶ディスプレイ(防塵・防水対応)設置	目 標	(2台)	()	()	()		
		実 績	2台					
	デジタルアーカイブ映像の作成	目 標	(デジタルアーカイブ映像作成)	()	()	()		
		実 績	デジタルアーカイブ映像作成					
達成状況説明	屋外型のデジタルサイネージとして屋外ディスプレイを設置し、本町既存のデジタルアーカイブ映像と多言語に対応したタウンガイドコンテンツを発信する環境が整備された。							
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）	
	デジタルアーカイブ映像の配信件数	目 標	()	(配信件数 20件)	()	()	()	
		実 績		配信件数 10件				
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進捗状況説明	多言語タウンガイドコンテンツと既存デジタルアーカイブ映像をエンコード処理しテスト配信開始した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(1)本町の観光拠点地に設置することで、来町者への情報発信の露出度が高まった。 (2)デジタルサイネージの運用方針を策定し、各コンテンツの配信計画とスケジュール、イベント情報等の新規追加についての運用調整が求められる。	(1)観光情報掲示板としての運用について検討を要する。
今後の取り組み方針		
地域情報及び観光情報の他、防災情報等の行政情報、町内各団体のイベント情報等の配信計画を実施し、着地型観光の促進を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
北谷町観光産業啓発広報促進事業					
		総事業費	交付対象事業費		交付対象外経費
		4,887	4,887	交付金 充当額 3,909	市町村 負担金 978
北谷町 4,887千円	－	委託料 472千円	－	株式会社沖縄科学AVセンター中部営業所 472千円	観光コンテンツ作成委託
	－	工事費 797千円	－	株式会社沖縄科学AVセンター中部営業所 797千円	屋外ディスプレイ用電源工事
	－	備品購入費 3,618千円	－	株式会社沖縄科学AVセンター中部営業所 3,145千円	屋外ディスプレイ購入
			－	株式会社沖縄科学AVセンター中部営業所 473千円	屋外ディスプレイハウジング用シャッター購入
資金の 使途の 流れ、 費目・ 検 評 備	評価	点 検 項 目			評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。			費目・使途については事業の目的を達成するためには必要不可欠なものであったことから、適正であったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。			
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。			
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			

市町村名	北谷町							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-10	宮城海岸マリンレジャーゾーン整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ		
担当部課名	建設経済部 都市建設課	事業実施（予定）年度	平成24年度～平成27年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
						Ⅲ-1-(1)		
事業内容	宮城海岸の水叩き部分を既設部分（県施工）に合わせてインターロッキングブロック舗装及び休憩舎を設置することにより景観的に優れた護岸整備を行う。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	47,500					
		(b) 予算現額	20,129					
		(c) 増減額（b-a）	▲ 27,371					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計（b+d）	20,129					
	B. 執行済額		20,129					
	うち交付金充当額		16,102					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）（B/A）		100.0%					
予算の状況の説明		・当初予算額から予算減が27,371千円あったが、当初想定していたインターロッキングブロックと同等で低価格の製品に変更したことによるものであり、当初計画していた事業内容は全て実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みても適正であると考えている。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	インターロッキングブロック舗装	目 標	（ A=1,642㎡ ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績	A=1,675㎡					
	休憩舎設置	目 標	（ 一箇所 ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績	一箇所					
	達成状況説明	インターロッキングブロックに関しては実際の現場での調整により、当初予定されていた面積以上の舗装を行うことができた。休憩舎に関しては当初の予定通りに設置出来た。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）	
	景観に優れた護岸の整備 （インターロッキングブロック舗装：1,642㎡）	目 標	（ ）	（ A=1,642㎡ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績		A=1,675㎡				
	景観に優れた護岸の整備 （休憩舎設置）	目 標	（ ）	（ 一箇所 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績		一箇所				
	進捗状況説明	インターロッキングブロックに関しては実際の現場での調整により、当初予定されていた面積以上の舗装を行うことができた。休憩舎に関しては当初の予定通りに設置出来た。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	工事が完了するまで海へアクセスする手段が無くなったことに加え、工期も4ヶ月間(H24.11.22～H25.2.28)あったこともあり、近隣で商売を営むダイビングショップのオーナーや付近の住民の方から早く整備して、海へ下りれるようにして欲しいとの要望を多く受けた。舗装延長が約800mあり、その区間の利用が制限されることで海岸へのアクセスに対するニーズが高い地域であることが明らかになった。	改善する点としては、工期の短縮を図るために製品の県内の在庫状況等を確かめるとともに工事延長が長かったため、工区分け等の工夫をし、海岸へのアクセスが早期に可能となるような整備方針が必要である。
今後の取り組み方針		
平成25年度の整備区間について、地域のニーズを確実に汲み取るとともに今回明らかになった海岸へのアクセスに対して高いニーズがあることから、工区を分ける等の工期短縮及び早期供用開始へ向けた対策を取りつつ護岸整備を進めていく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
20,129	20,129	16,102	4,027	

北谷町
20,129千円

→

工事費
20, 129千円

→

有限会社開成建設産業
20, 129千円

平成24年度宮城海岸マリンレジャーゾーン整備工事

資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○請負業者は町の指名業者選定委員会にて企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定されており、妥当であったと考えている。 ○費目・使徒については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	北谷町						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	英語指導助手派遣事業（小学校）			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア	
担当部署名	教育委員会 学校教育課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	国際社会、情報社会に対応した教育の推進	
						Ⅲ-1-(1)	
事業内容	教育環境の充実を図り、児童生徒の国際理解やコミュニケーション能力、基礎学力等の向上に繋げるため、小学校の英語を中心とした外国語活動の授業における指導補助、教材作成や英語スピーチコンテスト等の指導補助として、各小学校に英語指導助手を派遣する。						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	6,888				
		(b) 予算現額	6,450				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 438				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	6,450				
		B. 執行済額	6,331				
		うち交付金充当額	3,306				
		次年度繰越額	0				
		執行率（％）(B/A)	98.2%				
	予算の状況の説明	438,000円の予算減額は、当初の配置時間数と実際の活用時間数に差が出たためであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・英語指導助手（AET）配置	目 標	（ 全小学校に各1人：4人 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	全小学校に各1人：4人				
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績					
達成状況説明	外国人を英語指導助手として委嘱し、年間200日間前後、1日5時間、全小学校へ派遣した。各小学校における外国語活動、図工や家庭科、体育等の技能教科を中心とした部分的イマージョン教育にも取り組んだ。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	・英語指導助手（AET）配置	目 標	（ 全小学校に各1人：4人 ）	（ 全小学校に各1人：4人 ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績		全小学校に各1人：4人			
	【参考指標】	目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績					
	進捗状況説明	小学5年生ブロンズ、小学6年生シルバー児童英語検定の平均正答率が、平成23年度の実績では85.0%であったが、平成24年度には85.8%で0.8%増加した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	活動実績、成果実績について、当初の目標どおりの英語指導助手の配置ができており、成果目標の指標にもなる児童英語検定の平均正答率が増化している。	全小学校に各1人ずつ、外国人の英語指導助手をもれなく配置し、英語に慣れ親しむような授業の支援を行う。
今後の取り組み方針		
(財)英語検定協会の結果である児童英語検定の正答率を平成33年度までに90%に達成させるように、英語基礎学力の向上に努める。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
4,133	4,133	3,306	827	

北谷町
4,133千円

報酬
4,133千円

町内4小学校(北谷、北谷第二、北玉、浜川)
英語指導助手報酬
4,133千円

資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	小学校英語指導助手(AET)の任用、報酬、服務及び勤務条件等に関する要綱に基づき、英語指導助手派遣事業の業務に適すると認められる者を委嘱しており、支出先の選定は妥当であり、費目・使途についても適正である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	北谷町						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-②	英語指導助手派遣事業（中学校）			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア	
担当部課名	教育委員会 学校教育課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	国際社会、情報社会に対応した教育の推進	
						Ⅲ-1-(1)	
事業内容	教育環境の充実を図り、児童生徒の国際理解やコミュニケーション能力、基礎学力等の向上に繋げるため、中学校の英語を中心とした外国語活動の授業における指導補助、教材作成や英語スピーチコンテスト等の指導補助として、各中学校に英語指導助手を派遣する。						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	6,504				
		(b) 予算現額	6,504				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	6,504				
	B. 執行済額		6,324				
	うち交付金充当額		3,320				
	次年度繰越額		0				
	執行率（％）(B/A)		97.2%				
予算の状況の説明		当初の計画通り予算を適正に執行できた。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	英語指導助手（AET）配置	目 標	（ 全中学校に各1人：2人 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	全中学校に各1人：2人				
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績					
	達成状況説明	外国人を英語指導助手として委嘱し、年間210日間前後、1日7時間45分、全中学校へ派遣した。各中学校における英語の授業において、実践的なコミュニケーション能力を育成するような授業の支援を行った。夏季休業期間中に5日間中学校英語スピーチコンテストにおける指導を行った。					
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	英語指導助手（AET）配置	目 標	（ 全中学校に各1人：2人 ）	（ 全中学校に各1人：2人 ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績		全中学校に各1人：2人			
	【参考指標】	目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績					
	進捗状況説明	沖縄県到達度調査（英語）正答率が、中学2年生の実績として平成23年度は54.4％であったが、平成24年度には51.1％で3.3％減少した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	活動実績、成果実績について、当初の目標どおりの英語指導助手の配置はできているが、成果目標の指標ともなる、沖縄県独自で調査をしている沖縄県到達度調査(英語)の正答率が減少している。	沖縄県到達度調査(英語)の正答率が減少している原因のひとつとして、無回答率が6%から6.3%へと増加していることがあげられるため、今後の課題として改善策を考えていく。
今後の取り組み方針		
全中学校に各1人ずつ、外国人の英語指導助手をもちろん配置し、スピーチコンテスト等を通して、生徒の国際理解やコミュニケーション能力の向上支援を行いながら、沖縄県到達度調査(英語)の正答率が減少している原因のひとつである、無回答率が6%から6.3%へと増加していることへの改善策を検討し、沖縄県到達度調査(英語)の正答率を平成33年度までに60%に達成させるように取り組む。		

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>4,151</td><td>4,151</td><td>3,320</td><td>831</td><td></td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	4,151	4,151	3,320	831	
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
4,151	4,151	3,320	831											
北谷町 4,151千円 報酬 3,536千円 町内2中学校(北谷、桑江) 英語指導助手報酬 3,536千円 社会保険料 615千円 町内2中学校(北谷、桑江) 英語指導助手の報酬に係る社会保険料 615千円														
資金の流 使途の流 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
・	○	支出先の選定方法は妥当か。	中学校英語指導助手(AET)の任用、報酬、服務及び勤務条件等に関する要綱に基づき、英語指導助手派遣事業の業務に適すると認められる者を委嘱しており、支出先の選定は妥当であり、費目・使途についても適正である。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	北谷町							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-③		北谷の次代を担う人材育成事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア		
担当部課名	教育委員会 学校教育課		事業実施（予定）年度	平成24～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際社会、情報社会に対応した教育の推進		
	Ⅲ-1-(1)							
事業内容	直接異文化にふれ、歴史を学び、交流体験することで、心豊かな国際性に富み、将来の北谷町を担い、国際社会に貢献する素地を醸成に繋げるため、中学生を海外に派遣する。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,484					
		(b) 予算現額	2,946					
		(c) 増減額 (b-a)	462					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	2,946					
	B. 執行済額		2,477					
	うち交付金充当額		1,981					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		84.1%					
予算の状況の説明		教育長が英国交流派遣団の団長で出張することに決定したことに伴い、英国派遣交流研修委託料の追加分が生じ増額した。						
活動目標（指標） 及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	英国派遣（英語スピーチコンテスト並びにカンパセーションコンテストの上位入賞者）	目 標	（ 派遣生徒数：4 人 ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績	派遣生徒数：4人					
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績						
達成状況説明	国際社会に貢献する人材を育成するために、英語スピーチコンテスト並びにカンパセーションコンテストの上位入賞者4人を英国へ派遣した。							
成果目標（指標） 及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）	
	英国派遣（英語スピーチコンテスト並びにカンパセーションコンテストの上位入賞者）	目 標	（ ）	（ 派遣生徒数：4人 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績		派遣生徒数：4人				
	【参考指標】	目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績						
	進捗状況説明	英国派遣した生徒から、派遣交流の体験により視野が広がり、国際的視野や英語力が求められる職種につきたいという目標ができたという感想があり、英語に対する興味関心及び学習意欲の向上が図られた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	英語スピーチコンテスト並びにカンバセーションコンテストの上位入賞者4人を英国へ派遣することができ、国際化に対応できる資質・能力を持つ人材の育成の推進が図られた。	国際化に対応できる資質・能力を持つ人材の育成に向けて求められる施策は、町内の子ども達に広く、様々な機会を与えることで、更なる国際性に富む人材の育成の向上に繋がる。
今後の取り組み方針		
今後も英国派遣交流を継続し、多数の生徒が交流する手段や事業の企画の推進を図りながら、将来の北谷町を担う国際社会に貢献する人材の育成をする。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金 充当額</th><th>市町村 負担金</th><th>交付対象 外経費</th></tr> <tr> <td>2,477</td><td>2,477</td><td>1,981</td><td>496</td><td></td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費	2,477	2,477	1,981	496	
総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費										
2,477	2,477	1,981	496											
北谷町 2,477千円 委託料 2,477千円 株式会社ジャンボツアーズ 2,477千円 英国派遣交流研修委託料														
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
○		支出先の選定方法は妥当か。	英国派遣交流研修の委託契約については、入札執行により決定しており、支出先の選定は妥当であり、費目・使途についても適正である。											
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
		受益者との負担関係は妥当であるか。												
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	北谷町							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	3	跡地利用推進事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章－3－（13）－ア		
担当部署名	総務部 企画財政課	事業実施 （予定）年度	平成24年度～平成33年 度	沖縄振興基本方針 該当箇所	早期の事業着手に向けた取組			
事業内容	今後返還が予定される嘉手納以南の大規模な駐留軍用地の跡地利用を沖縄の発展につなげるためには、各跡地が都市機能を分担しながら、時代の潮流を見据えた新たな展望の下に、特色ある産業配置や都市機能の導入に向けて取り組むことが重要となる。 そのため、キャンプ桑江南側地区の土地利用計画の一つとして国際人材育成機能を導入するために、跡地利用推進調査事業において外国大学誘致検討委員会の設置や外国大学誘致基本構想（案）を策定する。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	8,159					
		(b) 予算現額	12,210					
		(c) 増減額（b-a）	4,051					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計（b+d）	12,210					
	B. 執行済額		10,052					
	うち交付金充当額		7,260					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）（B/A）		82.3%					
予算の状況の説明		・不要額が2,157千円発生しているが、委託費の入札残によるものであり、計画どおりすべての事業を実施した。活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正だったと考える。 ・委託内容の変更に伴い、当初予算から委託費を4,163千円増額した。（委託変更点：キャンプ桑江南側地区及び第1桑江タンクファームの概況調査の廃止、キャンプ桑江南側地区への外国大学誘致検討業務の項目追加）						
活動目標 （指標） 及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	外国大学誘致基本構想（案）の策定	目 標	（ 基本構想（案） の策定 ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績	基本構想（案）の策定					
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績						
達成状況説明	キャンプ桑江南側地区への外国大学誘致を推進するため、基礎条件の整理や課題への対応方策を検討し、外国大学誘致基本構想（案）を策定した。また、外国大学のあり方や誘致実現の方策を検討するため、様々な分野の有識者で構成する「北谷町外国大学誘致に関する検討委員会」を開催した。 地権者との合意形成活動として、説明会を開催し意見交換を行うとともに、ニュース放送やホームページ更新により情報を発信し周知を図った。さらに、地権者や住民等を対象とする講演会を開催し、外国大学誘致に対する理解促進及び機運醸成を図った。							
成果目標 （指標） 及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値 （ 年度）	24年度	25年度	26年度	目標値 （24年度）	
	外国大学誘致基本構想（案）の策定	目 標	（ ）	（ 基本構想（案） の策定 ）	（ ）	（ ）	（ 基本構想（案） の策定 ）	
		実 績		基本構想（案）の 策定				
	【参考指標】	目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績						
	進捗状況説明	キャンプ桑江南側地区への外国大学誘致を推進するため、基礎条件の整理や課題への対応方策を検討し、外国大学誘致基本構想（案）を策定した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・キャンプ桑江南側への外国大学誘致にあたっては、制度面や財政面等の課題があり、関係機関等の連携協力の下で推進していくことが不可欠である。 ・基地返還後、迅速・円滑に基盤整備事業に着手するためには、早い段階で地権者の合意に基づいた跡地利用計画を策定しておく必要がある。 ・適切な跡地利用計画策定や基盤整備事業の円滑化を図るために、自然環境や文化財分布といった地域特性の詳細を把握しておく必要がある。 ・平成25年4月、日米安全保障協議委員会において、沖縄における在日米軍施設・区域に関する統合計画が発表された。	・国や沖縄県、米国、経済界、住民、地権者等との協力体制の構築を図る必要がある。 ・外国大学誘致をはじめ跡地利用の具体的内容の策定に向けた取り組みを、地権者や住民とともに継続的に行っていく必要がある。 ・基地返還前における自然環境調査や文化財調査の実施が望まれる。 ・在沖米軍施設・区域に関する統合計画の内容を考慮した上で、今後の跡地利用の対応を図る必要がある。
今後の取り組み方針		
・国や沖縄県、米国、経済界、住民、地権者等との協力体制の構築に向けて引き続き説明及び協力要請等に取り組んでいく。 ・跡地利用に対する地権者の意識高揚や理解促進、機運醸成を図るため、地権者との意見交換の場の設定や情報提供、講演会等の啓発活動等を継続的に実施していく。 ・米軍基地内における自然環境調査や文化財調査の実施に向けて、関係機関と調整しながら取り組んでいく。 ・在沖米軍施設・区域に関する統合計画の具体的内容の把握に努めるとともに、同計画の進捗状況や他の返還対象施設の取組状況等を注視し、有効で適切な跡地利用の推進に向けて取り組んでいく。同時に、跡地利用の有効活用に向けた制度的・財政的課題等について、関係機関等に対して所要の措置を要請していく。		

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10,052</td><td>10,052</td><td>7,260</td><td>2,792</td><td></td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	10,052	10,052	7,260	2,792	
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
10,052	10,052	7,260	2,792											
北谷町 10,052千円 委託料 10,052千円 玉野総合コンサルタント株式会社 沖縄事務所 10,052千円 ・外国大学誘致基本構想(案)の策定委託業務 ・北谷町外国大学誘致に関する検討委員会運営委託業務 ・地権者等との合意形成促進業務														
資金の流 点検・費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、指名競争入札により選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なもののなか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	北谷町							
平成 2 4 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	4	仮戸籍等電子化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(5)－イ		
担当部署名	住民福祉部 住民課	事業実施(予定)年度	平成 2 4 年度		沖縄振興基本方針該当箇所	戦後処理問題の解決 Ⅲ-12		
事業内容	現在でも戸籍訂正の基礎資料として重要な役割を果たしている沖縄関係戸籍は、紙媒体であるため劣化が著しいことから、今後も安定的かつ継続的に同戸籍に係る住民サービスを確保するため、同戸籍の電算化を実施する。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	13,667					
		(b) 予算現額	27,582					
		(c) 増減額 (b-a)	13,915					
		(d) 前年度繰越額	－					
		A. 計 (b+d)	27,582					
	B. 執行済額		27,435					
	うち交付金充当額		21,948					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		99.5%					
予算の状況の説明		当初の計画通り予算を適正に執行できた。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	沖縄関係戸籍の電算化の実施	目 標	(対象戸籍数：5, 627件)	()	()	()		
		実 績	対象戸籍数：5, 837件					
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成状況説明	紙戸籍である沖縄関係戸籍の電算化を実施した。							
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
	沖縄関係戸籍の電算化率	目 標	(0%)	(100%)	()	()	()	
		実 績		85%				
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進捗状況説明	沖縄関係戸籍の電算化により、紙媒体からデータで管理することができた。また住民サービスとして、適正・迅速な証明交付が可能になった。 事業後半に未了戸籍が追加されたため、件数は目標値を上回ったが電算化率は目標値を下回った。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	事業の後半、未処理の届書が確認され、一部電算化未了の届書が発生してしまった。その他の届書は電算化により、安定的かつ継続的な沖縄関係戸籍に係る住民サービスを確保することが可能になった。	一部電算化未了の届書について、今後電算化するか、紙媒体で保管していくか検討していく。
今後の取り組み方針		
本町における沖縄関係戸籍の大半が電算化により、安定的・継続的な住民サービスが可能になった中、一部において未処理の届書が存在する実情を改善するために関係部署と調整し検討していきたい。		

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
27,435	27,435	21,948	5,487	

北谷町
27,435千円

日立製作所九州支社沖縄支店
27,435千円

(沖縄戸籍の複写及びセット
アップ業務委託)

資金の 使途の 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
資金の 使途の 点検 評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の委託業者は本町の戸籍システムを開発した業者であり、当該システムにデータを取り組む必要があり、他の業者の参入が困難であるため妥当であったと考える。 ○予算規模は事業の目的達成のために他の市町村の事例も勘案しながら予算調整してきたため適正であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	